

1 - 4 北海道道東地方の重力測量結果

Gravity Survey in the Eastern Part of Hokkaido

国土地理院 測地部

Geodetic Division, Geographical Survey Institute

北海道道東地方において1963年から定期的に重力測量を実施してきたので、その結果を報告する。図1は1963年から1976年までの根室、網走、釧路間の各重力値の差をプロットしたものである。測定結果はラコスト重力計による一等重力測量及び二等重力測量の混合であって、測定精度は10～50 μgal までの範囲にあり各々同一ではない。1973年の根室半島沖地震の前後で各点間の重力差にかなりの変動がみられるが、1973年の観測は二等重力測量の結果であり、また測定中にテアがあって信頼性が低いこと等から、この変動が有意かどうか疑しい面をもっている。しかし1972年と1978年の比較的信頼性の高い一等重力測量の結果では、網走及び釧路に対して根室で若干の重力値の減少がみられる。

参 考 文 献

- 1) 国土地理院：1973年根室半島沖地震前後の重力および地磁気変化，連絡会報 11（1974）14 - 18.
- 2) 大川史郎，横山泉，里村幹夫，中川一郎：北海道東部における重力変化（続報），測地学会誌 22 - 3（1976），178 - 187.

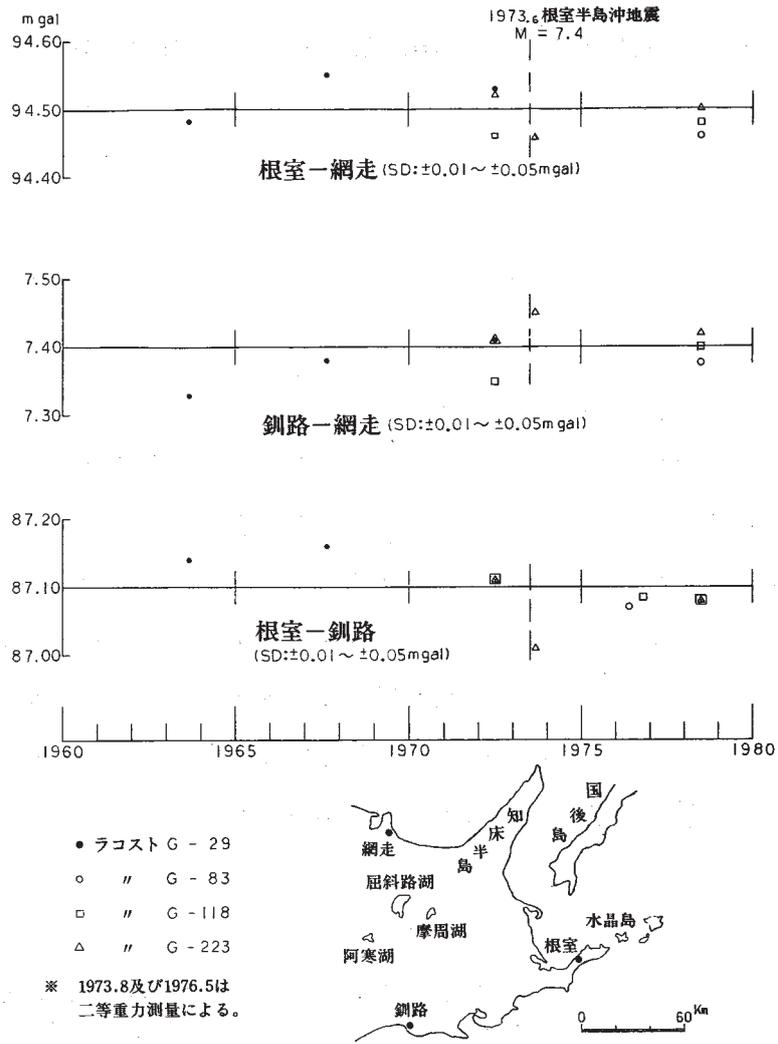


図1 北海道道東地方の重力測量結果

Fig. 1 Results of gravity survey in the eastern part of Hokkaido.